



春日部市議会議員
くりばら信司後援会だより

Kuri's Voice

<http://s-kuribara.com/>

発行責任者

栗原信司

春日部市中央7-6-6

春日部ハイツ105

TEL/FAX739-1508

e-mail:www@s-kuribara.com

s-kuribara@docomo.ne.jp

9 月度定例議会 一般質問より

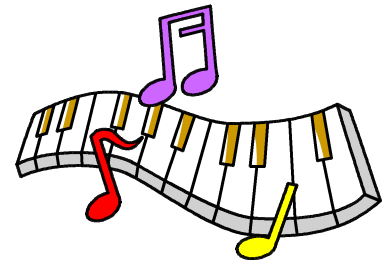
1. 教育問題に関連して

☆義務教育における補助教材について。

学校で児童生徒が使用するものは制服に始まり、体操服、カバン、筆記用具などがあります。補助教材としては参考書や書道セット、算数セット、等々様々なものがあります。

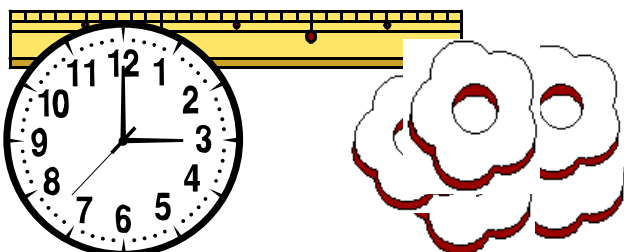
補助教材の中には、常時使うものもあるようですが、中には何度か触れる程度と云えば、語弊がありますが、使用時間の短いものもあります。こういうものは本来なら学校で備え付けであっても良いのではないのでしょうか。進学と共に購入を余儀なくされる補助教材は本当に必要なのではないのでしょうか。時代の流れを鑑み、パソコンの利用など家計に負担を与えない方向で取り組めないものか、提案かたがた質問しました。

取り組みはどうか、本物の芸術に触れることによって、教育上多大な影響を与えるものと確信しますが、芸術分野に限らずサッカーや野球など体育系も含めて検討すべきではと提案かたがた質問しました。



☆高齢者や未就学児を含む交通安全教育について。

春日部市内で、急増する交通事故に対してどういう取り組みをしているのか、積極的に取り組むべきではと、特に、緑町をはじめ自転車の練習などが自由に出来るスペースを確保すべきではと提案かたがた質問しました



☆学校教育と文化芸術の関わりについて

今春、小泉総理は21世紀の文化芸術大国を目指すという答弁したところではありますが、これに関連して、市としての





—最新情報・ちょっと小耳に—
10月1日から夕方5時にお帰り
チャイムが鳴るようになりました。

ご相談は Tel ; Fax 048 (739) 1508 E-Mail : www@s-kuribara.com

2. 障害者支援に関する取り組みについて

☆車椅子を使っておられる方からのご要望を取り上げました。体の健康な方は段差を越えることや、通行する車がちょっととぎれた時に道を横断することは容易なことと思いますが、車椅子を常時使う方や、歩行が困難な方にとっては、このわずかな移動距離・移動空間が実に大変な問題です。

そこで、**駅前をはじめ全ての公共機関への出入りに車椅子用の停車スペースの確保**が出来ないものか、この点について市としての考え方を質問しました。

この問題は、例えば、駅の改札口付近の車1台分ぐらいのスペースに障害者用の車椅子のマークを道路にペインティングをすべきでは、ということです。既に、公共の施設に限らず車椅子のマークの付

いた駐車スペースはどこにでもあるように思えます。しかし、ほんのわずかな時間ではありますが、ご家族に連れられて駅をはじめ各種の公共施設で乗り降りする場合があります。こういったときの不便さを解消して欲しいとの切なる声を是非お聞きとどめて欲しいと訴えました。専用のスペースと言うほどのものが無理でも、せめて**優先駐車スペースを確保**すべきではと訴えました。



3. IT問題に関連して

☆春日部市では、昨年12月の私の一般質問でIT対策本部を設置すべきではという要望に応える形で本年4月より、市長を本部長に対策本部を設置しております。

そこで、**1点目には全ての公共機関でネット接続が出来るように**して、情報弱者対策をするべきと提案かたがた質問しました。

2点目に携帯電話を活用して行政情報を流すことについて、提案かたがた市としての取り組みについて質問しました。

3点目に既に他市町村で取り組み始めている、**コンビニをを使っての24時間稼働の行政サービスの提供**について提案かたがた質問をしました。

